



■ JR 東日本商品化許諾済



ANRS-72379B / 本編 120 分 4,950 円 (税込)

DVD ANRS-72378 / 本編 120 分 3,981 円 (税込)

■ 撮影日 / 2023 年 5 月 10 日 (水) 晴

■ 区間 / 松本 (9:20 発) ⇒ 南小谷 (11:42 着) 5239M E127 系 2 両

■ 本編の概要 ■

5 月の快晴の下、松本を発車し篠ノ井線としばらく並走する。大糸線側にしかホームがない北松本を過ぎると篠ノ井線と分かれる。遠方に北アルプスの山々が見え始め、梓川を渡り安曇野へと入り、松本盆地を北上する。沿線周辺においては安曇野の水田が広がり、水面に山が映り込む絶景が見られる区間もある。信濃大町は線内の中心駅で屈指の観光拠点であるが、シーズンオフのためか駅は閑散としている。信濃大町を出て、市街地が終わり北大町を過ぎると、沿線は山岳地帯となる。左手に仁科三湖が見え、分水嶺の佐野坂峠を越えると、白馬に到着する。白馬からは渓谷地帯となり、流れが日本海側に変わった姫川沿いのカーブが連続する険しい谷間を走り、終着の南小谷へと向う。

◆ 展望本編の主なキャプチャ画像 ◆

※本編は 4K30P 規格での撮影のため、車窓の一部に残像を感じることがあります。



爽やかな快晴の下、松本を発車。南小谷まで 2 時間余の旅のスタート！



しばらく並走していた篠ノ井線が、右にカーブして離れて行く。(北松本～島内)



梓川を渡る。遠方には北アルプスの山々を望めるようになる。(島高松～梓橋)



一日市場で上り電車と交換。信濃大町以南では 211 系も顔を見せる。



交差型単弦アーチ式という特徴的な形の除沢川橋りょう。(豊科～柏矢町)



残雪の北アルプスが、田んぼの水面に映り込むのは絶景だ。(信濃常盤～南大町)



信濃大町に到着。立山黒部アルペンルート of 玄関口だが、シーズンオフで閑散としている。



北アルプスの山々が、だんだんと大きく迫ってくる。(北大町～信濃木崎)



信濃大町以北は列車本数も少なくなり、普通電車は E127 系オンリーである。(信濃木崎)



青々とした湖面が美しい木崎湖が広がる。(稲尾～海ノ口)



かつてヤナバスキー場駅があった辺り。この先サミットの佐野坂峠に挑む。(築場～南神城)



白馬も信濃大町と並んで、大糸線の観光拠点駅だが、この時期はひっそりとしていた。



松川を渡る。分水嶺を越えて、川の流れは日本海側に向う。(白馬～信濃森上)



落石覆いがある姫川沿いの険しい谷間を進んで行く。(信濃森上～白馬大池)



千国はシュプール号の増発のために交換設備を増設したが、今は撤去され 1 線化された。



南小谷に到着。電化区間はここまでで、以北は非電化で JR 西日本の管轄になる。

■ 撮影時の気象条件や機材との関係により、明暗のバランスの乱れがある区間があります。また、列車の進行方向によって、逆光による反射光で正面ガラスへの写り込み、汚れ等で展望が見づらいと感じる区間もありますが、あらかじめご了承下さい。